

レッツノートとIntel vPro®プラットフォームが ITシステム部門と店員のIT業務負荷軽減を叶え、 顧客体験価値の向上と売り上げ増、DX推進に貢献。



株式会社アシックス 様

導入時期：2022年
導入地域：全国

課題

様々なメーカーや古い機種 of 社用PCが混在し、生産性低下と管理負担が増えている状況。

解決策

社員レビューで一番高い評価を受けたレッツノートを採用し、社内PCを統一。管理負荷を最小限に。

“初期不良率は0.1%まで下がり、PCの問い合わせ件数は10分の1に削減。Intel vPro®プラットフォームで店舗PCの保守運用も効率化できました。”



株式会社
アシックス
GIT戦略部

柳谷 正章 様

※所属は納入時のものです。

背景

様々なメーカー、型落ちのPCが混在し、管理の負担と生産性低下が課題に。

当社ではDX推進の一環として、メンバーシッププログラム「OneASICS」を起点に、デジタルを活用したブランド体験価値の向上を目指しており、より付加価値の高いサービスやプロダクトの開発に取り組んでいます。この流れの中、「PC選定を機に社内にもDXを浸透させていく」というミッションを持って今回の導入検討を開始しました。

これまでの弊社のPC選定は、ケースバイケースで購入やリースを進めてきた部分があり、その結果、様々なメーカーや機種、リースから年数が経ってしまったマシンなどが混在し、管理するITシステム部門に相当負担がかかっている状況でした。それに加え、社内のデジタルツールの導入や、セキュリティ強化の面で様々なツール・監視用ソフトなどを入れることが増えてきており、古いPCだと動作が重くなることが多く、生産性の低下が問題視されていました。

導入した理由

社員にとっての使いやすさ、運用保守の効率化、ITシステム部門の負担軽減がカギ。

新たな社用PCの選定において、三つの基準を設定しました。まず一番に、「社員が本当に使いやすいと感じるマシンであるか」という点。事前にユーザーレビューを実施したところ、スペックに加え、頑丈性や画面のサイズ、カメラの解像度、スピーカー、マイク性能なども含めた総合面でレッツノートが他社製品よりも優れているという比較結果があり、第一候補とさせていただきます。

二つ目は、「店舗スタッフが使用するPCの運用と保守を効率化・最適化できるか」という点。全ての店舗に人員を派遣してPCの保守・サポートを行うのは現実的ではなく、ITシステム部門がリモートでファームウェアのアップデートや緊急のバージョンアップなどを一括管理できるのが望ましいと考えていました。それを実現できる機能がIntel vPro®プラットフォームに備わっていたため、それを前提で選定を進めました。

三つ目は、「ITシステム部門の負担軽減と運用の効率化を図れるか」という点です。工場出荷段階でソフトのインストールやユーザー登録など、キittingまでお願いできるかという点は重要な選定項目でした。

お客様紹介

主力のスポーツ用品を軸に、ファッションなどライフスタイル市場向けの商品を展開するほか、フィットネスアプリなどのサービスも提供している。

- 所在地 神戸市中央区港島中町7丁目1番1
- URL <https://corp.asics.com/jp>

レッツノート FV シリーズ

導入後の効果

**初期不良は1000台に1台ほどまでに改善。
問い合わせ件数も10分の1に。**

導入後の成果として一番大きいのが、PC関連の問い合わせ件数が劇的に減ったことです。国内では、PCに関する問い合わせは以前だと1日30件ほどありましたが、今では3~4件ほどになり、約10分の1に削減できました。その問い合わせ内容も落下などの人為的トラブルがメインで、ハードウェア自体の不具合はほとんどありません。

また、初期不良の少なさもレッツノートならではの、購入した3000台のうちわずか3~4台ほど。割合でいうと0.1%くらいでしょうか。初期不良というのはどのメーカーのPCでもある程度は発生すると思いますが、それらと比較して肌感的には圧倒的に少ない数字だと思います。

サービスの提供スピードUPが、 結果として売り上げUPにもつながる。

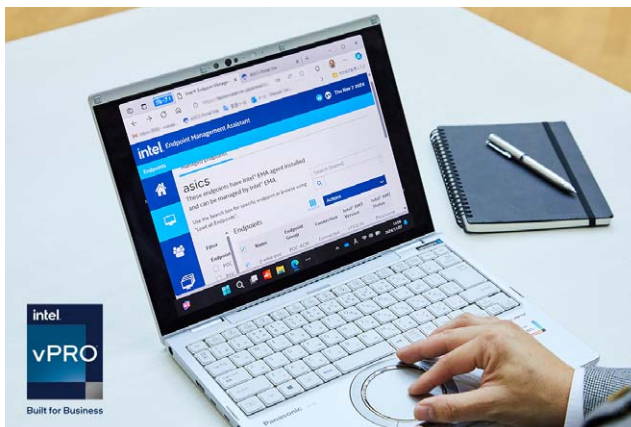
店舗においても、レッツノートの導入で様々なメリットが生まれました。特筆すべきは、サービス提供のスピードUPです。アシックスストアではお客様の足の特長を測定する「ASICS FOOT ID」を実施しており、お客様に合ったシューズをご提案しています。

3次元足形計測機で足をスキャンし、PCにインストールしたアプリケーションで分析結果をご案内していくため、PCのスペックや使い勝手が非常に重要になります。以前のPCだと、処理能力の問題で、起動にかなり時間がかかり、足形のスキャンデータを処理するのにかなり時間を要していました。レッツノートに変えてからは立ち上がりも速くなり、足形データの処理もすぐに終わるようになったので、お客様をお待たせすることが少なくなりました。

また、今回導入したFVシリーズはタッチパネル搭載モデルなので計測開始のアクションや足形画像の操作などが画面上で完結できるため、お客様への説明がよりスムーズに行えるようになりました。ご案内に要する時間が改善され、業務効率がUPしました。足形計測をされた方の平均約7割がシューズをご購入いただける傾向にありますので、計測数を増やせばその分、結果的に売り上げUPにもつながっているという実感があります。



▲お客様の足の特長を測定する「ASICS FOOT ID」にもレッツノートを活用。以前に比べて処理速度が向上したことで、お客様の待ち時間も減少。



▲Intel vPro®プラットフォーム導入により、店舗スタッフのPC運用に関する負担が大幅に軽減。接客品質の向上にも繋がっているという。

今後の展望

**レッツノート×Intel vPro®プラットフォーム導入後の
顧客体験価値の向上により、売り上げ増とDX推進を目指す。**

Intel vPro®プラットフォームの包括的な運用管理の一環として、インテル®エンドポイント・マネジメント・アシスタント(インテル®EMA)を活用すると、多くのPCをリモートで一括管理することができ、業務時間外の運用保守対応も可能となります。インテル®EMAの活用は店舗スタッフの負担軽減につながり、店舗スタッフの接客品質UPやモチベーションUPにつなげていくことも期待できます。

弊社は販売戦略として、オムニチャネルでECサイトと店舗側の在庫を結びつけ、トータルで販売を進めていくことを目指しています。店頭在庫がない商品をECサイト上で確認するなど、今後は店舗スタッフがPC上でデータを管理するシーンが増えてくると思われますので、今後さらにレッツノートがDX加速の架け橋になってくる可能性は十分あると思います。

同じ日本企業としてMade in Japanの品質を 世界に発信していく。

弊社が本社を置く神戸は、パナソニック コネクト様のレッツノート神戸工場が稼働する土地でもありますし、同じ日本のモノづくり企業としてシンパシーを感じています。実際に神戸工場にお伺いし、耐久性や頑丈性などのテストを目の当たりにして、モノづくりへの真摯な姿勢にとっても共感しました。購入や納期の相談、在庫の確保において、非常に真摯に対応していただいていますので、その関係性は今後も続けていただきたいです。神戸からブランドを発信する日本企業として、弊社もパナソニック コネクト様と共に高みを目指していきたいと思ひます。

関連機器

Let's note

ビジネスモバイルPC レッツノート

軽量&頑丈で持ち運びやすく、
高性能CPU搭載で作業がスムーズ。
ハイブリッドワークを快適にします。

※Intel、インテル、Intel ロゴ、その他のインテルの名称やロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。

